

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年11月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104134
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ滝の神
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町1044番地9 (電話) 099-243-2268
自己評価作成日	平成29年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年11月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が安心して、和やかに末永く生活して頂ける環境造りに職員一同取り組み、利用者様の個性や思考を尊重していく為に利用者様と御家族のご要望に耳を傾け、可能な限り取り入れて行くようにしています。また、充実した個別ケアを行う為に利用者様一人ひとりの心身状況を職員間での情報共有を行い、ご本人の生活の質を向上させる為には何が必要かを常に考え、話し合いながら介護の方向性を決めて接しております。他には季節の移り変わりを実感して頂くために、敷地内には小さな菜園を設けてその季節の旬の食材を提供しております。また、近隣の保育園との交流を図り、園児と利用者の触れあう機会を設け、双方の楽しい時間を作っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・町内会に加入し地域の運動会や文化祭等に参加している。地域の保育園児との交流や実習生・ボランティアの受け入れ等、地域との良好な関係が築かれている。
- ・敷地内に菜園があり、利用者と一緒に草取りをしたり、菜園でできた野菜を食材にして楽しんでいる。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図りながら相談や意見を聞き、アドバイスを行い、必要時は、代表者へと相談するなど解決に向けて行動し、資格取得についても協力的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り後に、スタッフ全員で理念を唱和し理解と共有するようにしており、理念に沿ったケアが実施出来るように努めている。	理念は玄関やフロアに掲示し、毎朝、申し送り後、職員全員で唱和し共有して実践につなげている。月1回ミーティングで振り返りもしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の運動会や夏祭りに参加している。地域の保育園児による敬老会等への参加をしてもらったり、日常の散歩や外気浴時に近隣住民と挨拶や会話をしたりと交流をしている。	町内会に加入し、地域の夏祭りや運動会・文化祭等に参加している。保育園の夏祭りに参加したり園児に敬老会に来てもらったりしている。認知症サポーターの受け入れやフラダンス・音楽演奏などのボランティアを受け入れている。高校生の実習や散歩時に挨拶等、日常的に地域住民と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会に加入し、地域住民への認知症の理解を目的とした勉強会等の提案を町内会長に行っているが、実践されていない。近隣の方が訪問した際、パンフレットを渡して分かりやすく伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在取り組んでいる事と実施内容を報告し、希望や意見をもらい実現するようにしているが、参加して下さるメンバーが固定化してきている。</p>	<p>定期的に運営推進会議を行っている。入居者の状況や行事・避難訓練の報告・外部評価の取り組み等を報告している。話合いの中で秋のコスモス見物希望等、出された意見をサービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>吉野支所、鹿児島市役所、長寿あんしん相談センターと連携を図り、常に行き来している。認定更新の際、担当者へ利用者の近況報告や入居相談を受け付け、連携を深めている。</p>	<p>市の担当者とは電話や窓口に向きアドバイスを受けたり、情報交換をしている。市主催の研修会にも参加し協力関係を築いている。介護相談員の受け入れもしている。福祉の担当者とも連携・協力を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の無いケアを契約書に記載し、言葉による拘束も含めてスタッフ全員が認識し実践している。又、年間行事の中に身体拘束の勉強会を取り入れ研修を行っている。現在身体拘束は行っていない。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、2ヶ月に1回、言葉による拘束も含めての勉強会を行っている。日中の玄関の施錠はせず、外出希望の利用者には職員が同伴し、安全を確保している。不穏状態の利用者に対しては、菜園の花を見たり土いじりなどの対策を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内勉強会を実施し理解を深め周知徹底されるよう努めている。入居者様の自由な暮らしを支え、心理的にも圧迫を掛けない様に配慮している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修等での発表をミーティングで行い、全員が権利擁護に関する理解を行っている。今年度は成年後見制度の対応が1件有り。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>常に利用者様の立場に立ち、利用者様とご家族への十分な説明を行っている。不安や疑問に感じる点は時間を掛け丁寧に説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関先に意見箱を設置し匿名でも御意見を頂ける様にしている。又、御家族の来訪の際に要望や意見を頂き、ミーティング等で議題にあげ、検討改善に繋げている。</p>	<p>利用者には暮らしの中で思いを聞いている。家族には意見箱の設置をしたり、行事時や家族会で意見を聞いている。個別ノートを基にホームでの状況を報告し、遠方の家族には電話等で意見や要望を聞き、運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングや随時、お互いの意見や提案を聞き、事業所内で改善可能であれば反映させ、困難な場合は代表者へ報告して改善検討を行っている。</p>	<p>管理者は、職員からの意見・提案・要望をミーティング等で聞いている。個別に相談を受けてアドバイスをしたり、日常的にもコミュニケーションを図るように努めている。以前、車椅子のブレーキをかけ忘れる利用者に対しての取り組みを職員で検討して安全確保に繋がった事例もあり運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者が現在の状況を把握し、給与規定の見直しや改善を行った結果、上昇が見られた。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人主催の勉強会や研修の参加等率先して行い、職員のスキルアップに向けた取り組みを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>職員研修でのグループワークを通じて同業者との交流が図れている。又、他施設での取り組み方、ケアの方法を聴く事でサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居以前の情報等を収集し個人を知ることから始めている。傾聴し寄り添い不安を取り除けるように対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時や電話にて情報交換を行い不安を解消して頂きながら、要望は施設内で対応可能な取り入れるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	十分に努めている。一方的な支援はしない様に心掛けている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る事を一緒に行いながら、職員は利用者を年長者として敬う気持ちを忘れないよう接し、信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族による個人差は多少あるが、家族の協力なしでは利用者の支援が出来ない事を理解してもらい、関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの人との関係は出来る限り保たれているが、場所については家族の協力により外出される方もいる。</p>	<p>面会者への対応はお茶を出し、フロアや居室でコミュニケーションを図っている。馴染みの美容師は送迎で、買い物やランチは家族や友人と出かけている。家族と外泊をするなど馴染みの場所や関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>認知症状により行き違いが生じた時には一人ひとりの話を傾聴し、尊重することで利用者同士の良い関係性が持続出来るように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>本人・家族と協議の上納得のいく支援を行っている。十分な説明を行い、サービス終了後でも相談や助言を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	十分に配慮して努めている。何よりも個人の思いを優先して、集団の中で満足して暮らせるようにしている。	利用者の顔色や表情・会話の中から希望や意向の把握に努めている。困難な場合は、家族や職員と話し合い本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	十分に努めている。本人・家族等入居前に聞き取りを行い、生活環境が大きく変化しない様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々職員間で連携を取り、個人の思いを尊重し、出来る事、持っている力を把握し発揮できるようなケアに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の会話の中から、本人の思いや面会時のご家族の思いや意見を聴き、毎月1回と必要に応じて随時ミーティングを行い、本人の状況に合わせて対応している。又、職員に利用者担当を持ってもらい全員の意見を聴き、本人や家族の要望を照らし合わせながら介護計画を作成している。	本人・家族の思いや意見を聞き、主治医・薬剤師・職員で話し合い介護計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、見直しは6ヶ月毎に行っており、状態に応じて計画の見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録には身体状況や日々の暮らし、本人の様子や言葉等を詳しく記録し、職員間で共有することで状態に応じたケアが出来るよう介護計画の見直しや実施をしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況に応じ受診の送迎等の必要な支援には柔軟に対応し満足して頂けるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会に加入し、行事に参加したり近くの保育園児との交流をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人家族が希望するかかりつけ医との連携を図っている。基本的には家族同行の受診となる旨を説明し利用契約時に同意を得ているが受診できない場合は、職員が代行付添いで支援している。</p>	<p>本人・家族が希望するかかりつけ医の受診を行っている。通院は、家族に依頼し職員が同行する時もある。1ヵ月1回母体の医療機関への受診、必要時眼科や歯科は訪問診療をうけ適切な医療を受けられるよう支援している。緊急性の場合は家族へ電話で報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在、GHには看護師がいない為、身体状況に変化があったら母体の病院看護師に状況説明し受診・看護を受けられる様支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には情報提供書発行し、入院の個別対応と治療が、迅速かつスムーズに行える様に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>日頃から母体となる病院を主として協力医療機関と密に連絡を取り、情報の共有化を図り、体調変化に迅速に対応できる様に努めている。</p>	<p>重度化・終末期の在り方について契約時に、本人・家族に話している。体調、状態変化時に職員は、家族・主治医と連絡を取り、情報交換をしながら方針の共有を図り、話し合いを行い支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>必要時には24時間体制のホットラインを利用し夜間でも相談できる体制を整えている。勉強会や消防による救命救急の講習や訓練を受講している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>運営推進会議等、地域の方や消防局に協力を呼びかけ、協力を得ながら避難訓練を行っており、非常時の食料等の準備をしている。</p>	<p>年2回の避難訓練を行っている。内1回は消防署立会である。ホーム独自で年3回昼夜間想定で水害訓練も含めて避難訓練をしている。災害時の備蓄としてラジオ付き懐中電灯やおむつなどの日用品と水・缶詰・カップ麺などを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉の掛け方には十分配慮、注意し大きな声で利用者様の話をしない様になっている。排泄・入浴介助時は扉の開閉等注意しプライバシーの確保に努めている。	利用者への声かけは、入居時に家族に相談して、それぞれに合った言葉かけをしている。洋服選びなども選択しやすいよう提示し、入浴や排泄時もドアの開閉に注意するなど、人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の好きな事や思いを聞き取り、日常生活の中で自己決定して頂いている。コミュニケーションが困難な利用者様にも生活歴、表情、動作から読み取り自己決定できる様努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位、自己決定の優先を常に心掛けてご希望に添えるように対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着用する服は本人の意向で選んで頂き、朝や入浴後は今まで使っていた化粧品で整容しお化粧が習慣になっている方もおられる。訪問美容室利用の際は本人の希望の整容を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>各利用者様の出来る範囲で下準備、調味、片付けを一緒に行い、同じテーブルで食事をしながら食材・味付けについて会話をし楽しめるよう支援しており、食事後は利用者様自ら下膳や食器洗いを行われ、職員と共に実施している。</p>	<p>嗜好調査を行い献立に取り入れている。個々の食事形態も考慮している。職員も同じテーブルで食べ箸が止まっている利用者には声かけや皿の位置を変えるなどして、全員が完食できるようにしている。キッチンも対面式で、下膳や食器洗いなど職員と一緒にやっている。テーブルに座る位置は決まっているが調整することもある。行事食も楽しみとなっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ご本人の食事摂取能力に応じた食事形態と食器類の選定を行い、時間のかかる方もゆっくり食べられる環境を整えている。脱水等に配慮し水分摂取量には注意している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、利用者様の口腔状態に合わせた声掛けや介助を行い口腔ケアを実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様それぞれの排泄状態を把握し、トイレにて気持ちよく排泄出来るよう支援している。	それぞれの排泄状況を把握し、声かけを行いトイレで排泄できるよう支援している。リハビリパンツが大半であるが、綿パンツが数名いて気持ちよくトイレ排泄ができています。働きかけでリハビリパンツから綿パンツへと改善され事例がある。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前や10時の水分補給時に、牛乳を飲んで頂き、毎日スムーズに排泄（便）出来るよう、食事面にも配慮し支援している。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様の生活リズムに合わせて快適に入浴出来る様温度や時間等を工夫し、希望に沿った入浴を支援している。しかし日勤帯だけで夜間帯の入浴は現在出来ていない。	入浴は日曜以外は毎日希望に応じて、午前中に入浴支援を行っている。同性介助での支援や入浴剤を使用して楽しんでいる。羞恥心の対応としてバスタオルを2枚使用するなど配慮して入浴支援している。入浴拒否時は時間を置いて声かけしたり、別の日に対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者様それぞれの居室の寝具等清潔に努め、室温調整し自由な時間に安心して休んで頂ける様支援している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬状況を把握できるよう個々のカルテを整理している。症状変化があった場合はすぐに主治医との連携を取って対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの利用者様に応じた家事参加や楽しみ事を理解し、支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者様の要望に応じて、年に数回外食・外出等、御家族様にも参加して頂いている。天候や体調、その日の気分によりドライブや外気浴へ出かけられる様支援している。	その日の希望に合わせて散歩や外気浴に出かけている。体調がよい時は買い物などを行っている。年間計画に基づき、花見・外食・外出等を行っている、家族の協力で県外に旅行し外泊される入居者もいる。できるだけ外出できるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人で金銭管理を行っている方はいないが、本人の希望を聴き、使い慣れたお財布に小銭を持っておられる事で安心感を持っておられる方もいる。一緒に買い物をした際に支払を行うて頂く場合もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙や電話を日常的に利用できるようにプライバシーに配慮し支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとにディスプレイを変え季節感を感じて頂けるように努めている。一緒に飾り付けをしたり、作成する事で季節感を感じてもらい楽しんで過せるように努めている。	玄関やホールは明るく採光もよく、室温・湿度も配慮し、清潔感がある。和室にはソファの長椅子とテレビがあり、ゆっくり寛げる。季節感のある飾り付けや入居者の手作り作品集、行事の写真などが飾ってあり、生活感もあり、居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室等も利用し、利用者が過したい場所で自由に過せるように支援している。又利用者同士が思い話ができる様に、座席の位置を考慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>長年使いなれたものを持って来て頂いたり、レクリエーションで作った作品を部屋やホールに飾ったりしている。</p>	<p>居室はベット・ダンス・洗面台・エアコンなどが設置されている。寝具類・机・本・椅子・テレビ・化粧品ケース・だるまの置物・自分の作品集・位牌などが持ち込まれ、居室の入口には、住所と名前の表札があり、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや浴室、廊下に手すりを設置し安全に過せるようにしている。又トイレや浴室や居室も理解できるようにサインプレートを付けている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない